



小牧市民病院 歯科口腔外科部長医師

藤 武智

周術期における口腔機能管理



周術期における口腔機能管理とは

手術や化学療法、放射線療法などを受ける患者さんの口腔内を清潔にして、機能的にも良好な状態に保つために口腔ケアや歯科治療を行うことです。また、平成24年度歯科診療報酬改定の重点課題のひとつに挙げられています。

口腔内を清潔で機能的に良好に保つことは、全身の健康にさまざまな良い影響を与えることが知られています。これは健康な人にも必要なことですが、なんらかの疾患を患い治療を行う人にはより一層必要なことになります。

全身麻酔で手術を受ける場合

手術後の誤嚥性肺炎のリスクが低下します。また、グラグラの歯を手術前に固定、あるいは抜歯をすることで、手術中に呼吸のための管を挿入する際のトラブルを避けることができます。手術後に人工呼吸器を装着する場合は、誤嚥性肺炎のリスクが高まるため、手術前に口腔内を健康に保つことはより重要になります。

化学療法や放射線療法を受ける場合

がんに対する化学療法（抗がん剤治療）を行っている患者さんの

40%に口内炎などの口腔粘膜炎が

発症すると言われています。また、頭頸部がん、食道がんなどで行われる放射線療法では、口内炎や口腔乾燥など、口腔粘膜に対するさまざまな放射線療法の影響が現れます。さらに化学療法と放射線療法を同時に行うと、口腔粘膜炎の発症率はほぼ100%と言われています。この口腔粘膜炎を完全に予防することは困難ですが、治療前や治療中に適切な口腔ケアを行うことで痛みの軽減や不快な症状の除去を目指します。

経管栄養を施行する場合

口から食事をとらず、チューブなどで栄養をとっている場合でも口腔内は不潔になるため口腔ケアが必要です。この状態が長期間になると嚥下機能が低下するため、嚥下機能の訓練などが必要になる場合があります。

移植治療を受ける場合

特に白血病や悪性リンパ腫などで骨髄移植を受ける患者さんの80%に口腔粘膜炎が見られます。また出血しやすく止血しにくい状態や、感染しやすい状態になるため、むし歯や歯周病が原因で発熱などが生じ、移植治療に支障をきたすこと

があるため、手術前に口腔内を健康に保つことは重要です。

その他の場合

口腔内を清潔に保つことは、糖尿病や冠動脈疾患の予防あるいは治療やインフルエンザの予防にも有効との報告があります。

毎日のセルフケアが大切

健康な人にとっても、口腔内を清潔に保つためセルフケアである毎日のブラッシングは欠かせません（特に就寝前は念入りに行いましょう）。義歯を使用している人は義歯の清掃も必要です。むし歯やグラグラの歯や合わない義歯などがある場合はかかりつけ歯科で治療を受けましょう。

全身麻酔での手術や化学療法や放射線療法などの治療の予定がある患者さんは、より一層のセルフケアを行ってください。これと同時にかかりつけ歯科を受診してください。治療前にかかりつけ歯科にて、歯石除去などの口腔内の清掃、むし歯の治療、合わない被せものや義歯の調整などを行うことで、全身疾患の治療における合併症を低下させ、より安全で安心な治療を受けられるようにしましょう。

問合先 市民病院(☎76-4131)